

質 問	回 答
<p>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等について</p> <p>本学施設部における建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する契約方法の基準等を前回開催時点の基準等と比較し説明を行った。</p> <p>2. 審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果および抽出案件の審議について</p> <p>■建設工事</p> <p>1) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事</p> <p>●大阪大学（箕面）教育研究施設新営電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別重点調査の辞退というのはよくあるのか。業者側が安く出しすぎているということか。 ・入札する金額が基準を少しでも下回ったら調査があるが、基準を上回れば審査がない。審査が十分なされないという弊害はないのか。 ・VE提案は業者が提案するのではないのか。具体的に何を審査しているのか。 <p>2) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事を除く</p> <p>●大阪大学（豊中）内壁クラック補修等その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札の中で、本件を選んだ理由は。 	<p>(特に意見はなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくある。短期間で膨大な調査資料を提出することになるため、そういった作業を嫌がって辞退するということはよくある。 ・施工体制確認型を導入しているので、そこで一定の担保は取っている。その中で安価になってきているので、調査としてはその価格で施工が出来るのかどうか、を精査している。 ・本学から「こういった項目での提案をしてほしい」という提示をしている。その項目において加点をし、採択の可否を判断している。 <p>・1者応札案件のうち、予定価格が最も高額なものを抽出した。</p>

質 問	回 答
<p>●大阪大学（吹田）（吹田）核物理研AVFサイクロトロン棟等改修その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の作成には業者が関係しているのか。 ・ 工事内容が非常に特殊なものではないのか。 ・ 内容が特殊で、本来入札に向かないような案件も入札にしているため、高落札率につながっているのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札をするような元請け会社に見積もりを取ることはない。 ・ 施設自体は特殊だが、本件工事は躯体の改修工事であるため、工事内容としては特殊ではない。 ・ 改修工事では相手先もリスクを含むため、高止まりする傾向にある。加えて本件のように予定価格が2億円を超えるような工事の場合、数量公開もあるため、入札価格と予定価格が似通ってしまうということはある。
<p>●大阪大学（吹田）工学U 6 棟建具改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低入札調査とはどういったものか。 ・ 建具の改修とは具体的にどんな内容なのか。 ・ 割れたガラスを交換する内容も含まれていたのか。 ・ 低入札調査になるものとならないものの取り決めはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者に関連資料を提出させ、内容を確認したり電話でのヒアリングを行って実際に入札価格で施工可能かどうかの判断を行っている。 ・ 窓ガラス等が前年度の地震災害により割れ、その飛散防止のためにフィルムを貼るという内容だった。その枚数がかかなり多かったため、入札となった。 ・ ガラス交換はすでに別工事として実施している。本件は飛散防止フィルムを貼るのみの内容である。 ・ 予定価格の金額によって、低入札調査基準価格を設定するかどうか、という基準は設けている。

質 問	回 答
<p>●大阪大学（吹田他）生命機能A棟等照明設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札業者が多いが、内容的に技術的なハードルが低いとか、そういう要因があったのか。 <p>●大阪大学（吹田）歯学部・同附属病院本館改修機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不落随契の見積回数がかなり多いが、それだけ受注したかったということか。 <p>3. 指名停止等の措置状況について</p> <p>平成30年度に措置した指名停止の案件はなかった旨を報告。</p> <p>4. その他</p> <p>再苦情処理については申立てが無かった旨を報告</p> <p>談合の疑義事実案件の無かった旨の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注部局の棲み分けはどうなっているのか。 ・ 原則に則らない案件も出てくるということか。 ・ 1回の契約金額を減らすために分割するようなものはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は照明器具を約900台、LEDの照明に交換するという内容になっている。一般的な電気工事が出来るのであれば、誰でも出来るような内容である。 ・ 通常、回数が多くなれば辞退となる場合が多いが、粘ったということは受注したかったのだと理解している。 <p>(特に意見はなし)</p> <p>(特に意見はなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則は予定価格が1,000万円を超えるものは施設部発注となっている。ただし医学部附属病院以外の部局の発注については技術職員の配置等、対応体制が整っていないため、予定価格が250万円を超えないものに限定している。 ・ 状況に応じて、部局と連携をしながら判断している。 ・ そういったことがないように対策を行い、意図的な分割がないように努めている。

別 紙

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事は、できる業者がかなり絞られてしま うのか。 ・現在施工中の箕面新キャンパスについて、電柱 は埋設するのか。 ・落札率 100%というのはどういった事情による ものか。 ・病院など、特殊な内容の工事は入札には向かな いのでは。 <p>(次回の開催について) 平成 31 年 4 月から翌年 3 月までの案件を審議 対象とし、来年 9 月～10 月頃に開催することに ついて了承いただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度は災害の関係もあり、工事業者がな かなか捕まらなかったという事情もある。不調、 不落も多く、相当苦戦はしている。 ・現在、埋設方向で協議している。範囲は大学周辺 のみとなる。 ・不落随契によるもので、見積合わせの過程で予 定価格と同額になってしまったため、100%とな ってしまった。 ・競争の余地がないものや、極めて特殊な内容の 工事については理由をきちんと整理したうえで 随意契約を行う。競争性のあるものとなないもの を混ぜて入札にしてしまうと、競争性がなくな ってしまうため、競争性のないものは切り出し て随意契約をするように整理している。